

2019年7月3日

劣化・寿命予測研究会 趣意書

一般財団法人化学研究評価機構

1. 目的

プラスチック製品は実使用条件下におけるさまざまな劣化因子の影響による物理的・化学的変化により機能の低下を生じることにより、その製品に求められる耐久性、劣化・寿命予測などが複雑に影響しており、試験方法、評価方法の研究、特に光や熱に関する課題が多く共通課題となっている。

この共通課題をもとに産業界、研究機関、試験所等による「劣化・寿命予測研究会」を発足させ、これまでの分析方法や最新技術等を用いて劣化の進展、機構の解明をはかるとともに、得られた知見を生かして産業界が求めるプラスチック製品の劣化・寿命予測の指標になる評価方法を考案し、我が国産業の発展に寄与することを目的とする。

2. 活動内容

研究会の活動は、劣化因子である光と熱にかかわる耐久性、劣化・寿命予測を必要とするプラスチック製品の課題ごとにワーキンググループ（WG）を設置し、当機構が研究機関や試験所との橋渡しを行いつつそれぞれの課題を検討していく。

3. 運営

- (1) 当機構が事務局として会の運営を行う。
- (2) 事例や最新情報の提供のため、情報シンポジウム、研究会、勉強会等は年1回以上行う。
- (3) 研究会、分科会開催にかかわる費用は、当機構が負担する。また、個別課題解決に必要な試験・研究費、サンプルの提供等はWG内で負担する。
- (4) 課題ごとの検討期間は5年を基本とする。
- (5) 参加の申し込みは別途定める書面をもって申し出る。

4. 研究成果の発表

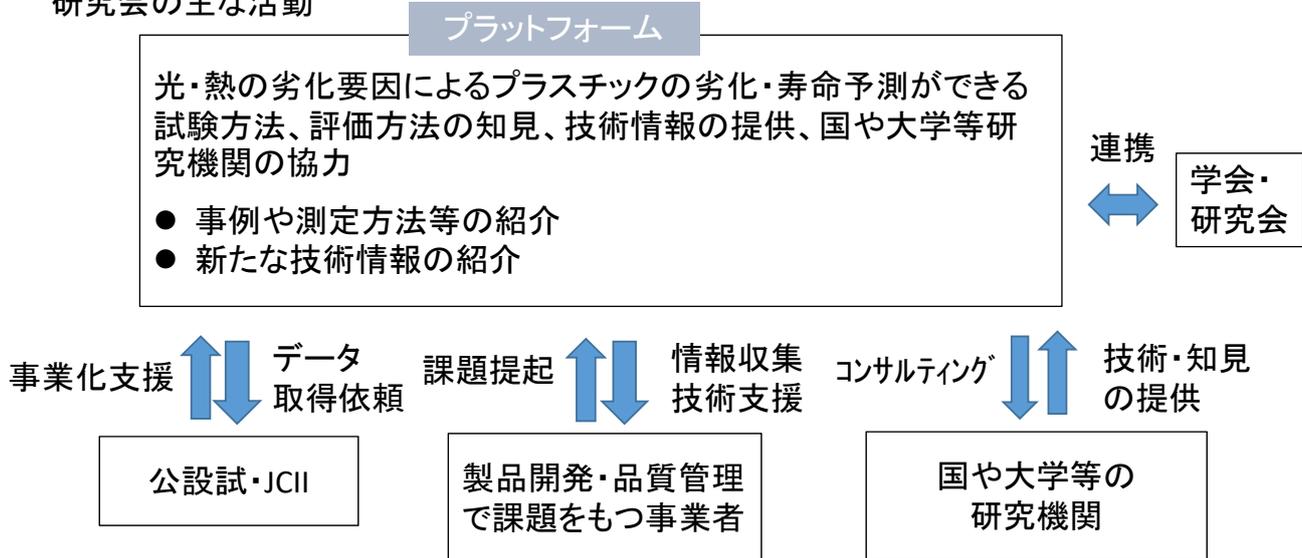
研究成果については、共通課題部分についてJCIIニュース等により発表する。

5. 秘密保持契約

製品の開発・製造等に関わる情報について、当機構と秘密保持契約を締結して対応していく。

- ・ アンケート、個別訪問をしたところ、劣化・寿命予測についてのニーズが多く、課題も幅広いが光や熱での劣化でグループ化が可能。
- ・ 個企業が個別に実施するには負担が多く、装置、データ取得、解析技術、知見等に課題があり共通で対応。
- ・ 課題をもつ事業者と研究機関、公設試等の橋渡し

研究会の主な活動



劣化・寿命予測研究会の取組事例(イメージ)

シンポジウム、セミナー、勉強会



- 試験や評価方法の事例
- 課題・問題点の情報共有
- 新たな試験・評価方法等の情報発信

試験・評価方法によるプラットフォーム



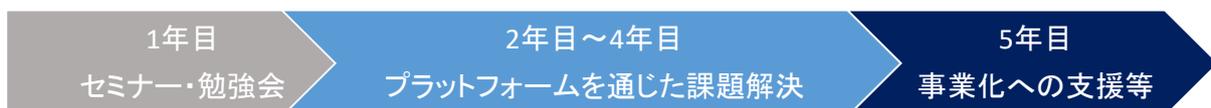
- 個社では対応できない課題
- 学識経験者による助言、指導
- 装置・設備の利用

事業化への支援



- 国や研究機関によるコンサルティング
- 共同研究として施設・技術等を協力
- 戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)等を利用した技術開発支援
- 戦略的国際標準化加速事業等を利用したISO・JIS規格開発の支援

○ スケジュール



勉強会等・WG・個別課題との関係(イメージ)

劣化・寿命予測研究会

勉強会等

共通テーマ

熱劣化
WG

- 共通テーマ
- A社課題解決
- B・C社課題解決

光劣化
WG

- 共通テーマ
- D社課題解決
- E・F社課題解決

寿命予
測WG

- 共通テーマ
- F社課題解決
- A・D社課題解決

○ 当面のスケジュール

2019. 7. 3

- ◆ 2019年 7月 3日 : 趣意説明会(大阪)
- ◆ 2019年 7月12日 : 趣意説明会(東京)
- ◆ 2019年 8月 9日 : 参加申込み締切り(1次)
以降 随時受付
- ◆ 2019年 9月 末 : 発足式・勉強会の開催案内
- ◆ 2019年10月～11月: 発足式・勉強会の開催
(WG案の提示)
- ◆ 2020年 1月～2月 : 各WGの開催

○ 申し込みについて

趣意書をご確認の上、「劣化・寿命予測研究会参加申込書」を企画開発部までご提出ください。

[参加申込・お問合せ先]

企画開発部 担当者: 刑部 E-mail: info_jcii@jcii.or.jp

TEL: 03-5823-5521 FAX: 03-3865-3051